

# 一般質問通告一覧

平成28年第4回島田市議会定例会  
平成28年12月1日・2日・5日本会議

島 田 市 議 会

◎ 発言順位

(頁)

平成28年12月1日(木)

16番	八木伸雄	議員(一問一答)	-----	1
3番	横田川真人	議員(一問一答)	-----	2
14番	紅林貢	議員(一問一答)	-----	3
13番	大石節雄	議員(一問一答)	-----	4
12番	仲田裕子	議員(一問一答)	-----	5
8番	村田千鶴子	議員(一問一答)	-----	6
10番	桜井洋子	議員(一問一答)	-----	7

平成28年12月2日(金)

18番	平松吉祝	議員(一問一答)	-----	8
4番	山本孝夫	議員(一問一答)	-----	9
7番	清水唯史	議員(一問一答)	-----	10
17番	藤本善男	議員(一問一答)	-----	11
5番	森伸一	議員(一問一答)	-----	12
11番	佐野義晴	議員(一問一答)	-----	13
1番	青山真虎	議員(一問一答)	-----	14

平成28年12月5日(月)

2番	杉野直樹	議員(一問一答)	-----	15
15番	福田正男	議員(一問一答)	-----	16
6番	伊藤孝	議員(一問一答)	-----	17

○一般質問の質問時間のめやす

質問者	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目	6人目	7人目
質問時間	9:30 ~ 10:20	10:20 ~ 11:10	11:10 ~ 12:00	13:00 ~ 13:50	13:50 ~ 14:40	14:50 ~ 15:40	15:40 ~ 16:30

あくまでもめやすです。

議員により質問時間は変動しますので、あしからず御了承ください。

## 1. 16番 八木 伸雄 議員 (一問一答)

### 1. 市民の声が届く市政について

今定例会の前に、またも大幅な市の組織再編が議会に示された。染谷市長が就任した年度はともかく、自分で任命した職員の配置や組織を毎年大幅に再編するのはなぜか。多数の市民の声を聞く中で、「コミュニティバスが不便になった。」、「すぐやる課の職員がいなくなり、道路や公園の修繕や草刈りが滞っている。」、「島田市緑茶化計画と言うけれど、茶農家や茶問屋に対する何の政策もない。」、「島田市緑茶化計画とは何か。」、「危機管理部が設置され自主防災組織と自治会の連携が取りにくくなり危機管理が不安だ。」などなど、市民からの疑問の声が尽きない。

今回も大幅な組織再編が行われるとの説明があったが、4年連続で大幅な再編が行われれば、市民ならずとも我々議員でさえも課、係の名を覚えきれない。職員も腰を据えて仕事ができているのか疑問だ。

こうした組織再編は、市民の期待に応えているか。どのような意図があり組織再編を行っているのか、市民目線に立ち、以下伺う。

- (1) 市長就任後自ら選任した経験豊富な副市長を解任した。自らの判断に誤りがあったか。また、最初的大幅人事の成果はあったか。
- (2) 危機管理部を設置した。先の定例会で質問した洪水対策で「想定を現状考えられるものに見直すべき。」と提言したが、危機管理部長から「国や県から新たなものが示されたら考える。」との発言があった。原発の避難計画もしかりであり、国や県の指示通りなら事務的にできることである。職員教育は評価するが、現場や市民への危機管理体制は不安である。市民とのギャップをどのように考えるか。
- (3) 茶業振興係体制から統括部署として茶業振興室が設置されるが、どのような施策を考えているか。
- (4) すぐやる係が課の体制になる理由と目的は何か。

### 2. ごみ焼却最終処分場について

前市長の東日本大震災のがれき焼却の受け入れに伴い、現最終処分場への受け入れを地主から拒否された。市長選挙の大きな争点の一つでもあったため、染谷新市長への期待は大きく、引き続き処分が可能になると信じていた市民は大きな期待を抱いていたと思われるが、処分の余剰を残したままの返還となることが決まった。これまでの経緯と今後のごみ焼却灰の最終処理について、以下伺う。

- (1) 現処分場の処理量を残しての処理灰等の搬入終了をどのように認識しているか。
- (2) 満杯まで搬入できるよう市長の経営手腕、地元との人間関係を期待したが残念な結果になった。これまでどのような努力をしてきたか。
- (3) 今後の処理は市外の民間業者の処理施設への搬入を考えているとのことだが、安定的な処理や財政的な面で市民の期待に応え得るか。

## 2. 3番 横田川 真人 議員 (一問一答)

### 1. 住みたい自治体に選ばれるためには

少子高齢化、人口減少が加速する中で、これに歯止めをかけるには住みたいまちに選ばれ、定住人口の増加を図る必要があると考え、以下伺う。

#### (1) 中山間地域での課題解決について

- ① 若年層が移住・定住するために求められるものは何か。
- ② 中山間地域に必要な公共施設やインフラは何か。
- ③ 中山間地域に住んでいる人が仕事をするのに必要なことは何か。

#### (2) 中心市街地での課題解決について

- ① 市街地での定住に必要なものは何か。
- ② まちなかならではの魅力は何か。

### 2. 旧金谷中学校跡地の今後について

富士山静岡空港周辺整備の一環で旧金谷中学校跡地の整備がある。市が用地の確保をし、静岡県が施設の建設を担うという約束であった。現在、旧金谷中学校跡地の活用に向けた基本計画が示されたが、今後の展開について以下伺う。

- (1) 今までの経緯はどうか。
- (2) 事業が進まないことの責任の所在はどこか。
- (3) 静岡県はやる気があると感じているか。
- (4) 今後の予定はどうか。

### 3. 14番 紅林 貢 議員 ( 一問一答 )

#### 1. 島田市の現状と今後の取り組みについて

経済の停滞、人口の減少、防災対策など多くの課題を抱えながらも未来志向の市政運営がなされなければならないと考える。島田市の現状にどのような認識を持ち、今後の施策をどのように確立していくのか、以下質問する。

- (1) 市政への取組実施状況評価（平成27年度末）について、市長は着実に市政を運営してきたと述べているが、市長就任後に新たに感じ、取り組んだ施策は何か。
- (2) 島田市総合計画後期基本計画に掲げた「めざそう値」の平成27年度末現在の評価をどのように捉えているか。
- (3) 日本の債務額が1,062兆円、国民一人当たり837万円と最近報道されたが、島田市の状況はどうか。
- (4) 実施計画（平成29年度～平成31年度）に示された各種事業への準備状況はどうか。
- (5) 第2次島田市総合計画策定状況を伺う。
- (6) 大きな課題である人口減少問題にどのように取り組んでいくか。
- (7) 公共施設マネジメント事業及び公共施設再配置計画への取り組みについて伺う。

#### 4. 13番 大石 節 雄 議員 ( 一問一答 )

##### 1. 高速通信網整備事業について

ICT情報社会の進行は加速的に進み今日ではいながらにして世界の情報を得られるようになった。しかし、次の段階としてスピードと情報量が備わっていないと乗り遅れてしまう現状にある。島田市においては先の9月定例会において「光ファイバ網整備事業補助金」が債務負担行為補正として提案され、議会において可決し市内全域に高速通信網の整備が現実のものとなる予定である。その具体的な取り組み内容について、以下質問する。

###### (1) 整備範囲、整備計画のスケジュールについて

- ① 市内全域の整備を目指しているのか。
- ② 事業者選定の時期はいつごろか。
- ③ 全域に整備するための事業費の試算をしているのか。
- ④ 来年度整備が実施できなかった地区についての対応はどうするか。

##### 2. 集落ネットワーク圏形成事業について

平成28年3月に作成した過疎地域自立促進計画の集落の整備において、「集落ネットワークの形成に向けて、ネットワーク運営の中心的な役割を果たす地域コミュニティ組織の体制整備を支援する。」とあるが、自立促進を目指す地域の取り組みを踏まえて現状と今後の取り組みについて、以下質問する。

###### (1) 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業の内容について

- ① 支援の内容及び規模はどの程度か。
- ② 他地域の取り組み内容はどのようなものがあるか。
- ③ この事業を進めるに当たり具体的なタイムスケジュールはどのようになっているか。
- ④ 事業推進に対する地域の対応はどのようになっているか。
- ⑤ 過疎地域等とあるが、対象地域の範囲はどのようになっているか。

##### 3. 消防団活動の現状について

島田市消防団が平成26年12月31日に発生した工場での大火災対応において、「平成28年防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞されたことは市民として、また、消防団OBとして心から賛辞と感謝の気持ちを表したいと思う。私たちの生命財産を守ることを目指し、日々訓練を通して消防力を高めている消防団の活動について、以下質問する。

###### (1) 非常招集訓練について

- ① 実施時期、回数はどのようになっているか。
- ② 訓練実施にあたっての問題や課題はあるか。
- ③ 消防自動車の緊急車両としての位置づけはどのようになっているか。

###### (2) 消防活動での通信手段について

- ① 現状の活動において連絡が取りにくいなどの問題点があると聞くが、具体的な内容は何か。
- ② 問題解決に対する対策は何か。

## 5. 12番 仲田裕子 議員 (一問一答)

### 1. 島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推移について

平成26年11月21日に成立したまち・ひと・しごと創生法に鑑み、全国の市区町村計1,784団体が、平成28年4月には地方版総合戦略を策定したそうだが、4地方自治体が未策定であり、4地方自治体にはやむを得ない事情があったと聞いている。島田市においては昨年10月に島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略が制定され、その戦略に沿った行政施策を遂行してきた。この戦略は、平成27年度から平成31年度の5年間の目標だが、これまでの取り組みの推移を、以下伺う。

- (1) 「しごと」について、基本目標と施策の主な成果はあったか。
- (2) 「ひと」について、移住定住促進に関する目標は達成する見込みはあるか。また、シティプロモーションの推進は順調か。
- (3) 「まち」について、人口減少時代を支える仕組みは順調か。

## 6. 8番 村田 千鶴子 議員 ( 一問一答 )

### 1. 良好な環境づくりに向けての横井運動場公園人工芝サッカー場施設の充実について

平成27年3月22日に完成した横井運動場公園人工芝サッカー場は開設以来、毎週末、チャイルド、小学生、中学生、高校生、社会人、そしてシニア等、幅広い年代で各種大会が開催され、多くの人が集まっている様子にて嬉しい限りである。しかし、利用者より施設面での指摘の声も聞かれ、課題が明らかになってきた。特に、市内にあるサッカー場施設の中で唯一有料施設という観点から、利用者の満足度は重視すべきと考え、以下当局の所見を伺う。

- (1) 施設面に対して利用者からどのような指摘を受けているか。
- (2) 良好な環境整備として、付帯施設の充実の考えはどうか。

### 2. 民生委員児童委員、主任児童委員の改選期を迎えて

本年12月1日は一斉改選期にあたり、新しく就任される方も多いと思う。職務範囲は、見守り活動からその延長線にある地域ふれあい事業（ふれあいサロン）や地区社会福祉協議会など広範囲にわたっており、地域住民の良き相談者として多忙な活動には頭が下がる。現状では、なかなか担い手が見つからないとの声も聞こえてくる。民生委員児童委員の皆さんが活動しやすい環境づくりが、地域福祉の増進に繋がっていくと考え、改選期を踏まえ以下当局の所見を伺う。

- (1) 今回の一斉改選の状況はどうか。
- (2) 今回の選考にあたり、自治会での状況をどのように把握しているか。
- (3) 年間の民生委員児童委員の活動状況はどうか。
- (4) 平成25年2月定例会において、民生委員児童委員の負担軽減を主眼に一般質問をしたが、その後、職務において具体的に軽減されたものは何か。
- (5) 職務の負担軽減策として、市による土日及び夜間の相談窓口の開設についてはどうか。
- (6) ことしの3月に、平成28年度から5年間の計画である「島田市地域福祉計画・島田市地域福祉活動計画」が策定された。これを推進するには民生委員児童委員の協力は不可欠である。具体的な取り組みの計画はどうか。



## 7. 10番 桜井洋子 議員 (一問一答)

### 1. 子どもたちに行き届いた教育について

今、子どもたちが人間として大切にされ、憲法と子どもの権利条約が生きて輝く学校をつくり、どの子にも行き届いた教育を進めていくことがますます求められている。以下伺う。

#### (1) 全国学力・学習状況調査(学力テスト)について

全員調査方式が実施されて4年経つが、回を重ねるごとに点数競争が激化し、事前に過去問題やドリル、類似問題などを繰り返しやらせる事態が広がっている。学校ごとの平均点を公表する自治体もあるが、教師にも子どもにも負担を与えていると考える。

- ① 平成28年度の調査の結果とその評価はどうか。
- ② 学力向上委員会の取り組みはどうか。

#### (2) 不登校、いじめについて

文部科学省の「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」でいじめや暴力行為、不登校などの増加が指摘されている。

- ① 島田市における不登校やいじめの実態はどうか。
- ② 不登校の児童生徒への対応、対策はどうか。
- ③ いじめへの対応、対策はどうか。

#### (3) 少人数学級について

小・中学校の1クラスの人数は、小学校1、2年生は35人以下学級で、それ以外は静岡式35人学級(下限を25人とする。)を実施している。

- ① 平成28年度における市内の学校の実態はどうか。
- ② 36人以上となる学級への教員配置の配慮はどうか。

#### (4) 市の嘱託員の配置について

- ① 2校兼務の図書館支援員を12学級以上の学校には単独配置にする考えはないか。
- ② 特別な支援を必要とする児童生徒への教育に対応する学校教育支援員の増員が必要だがどうか。
- ③ 各学校へ派遣されるスクールソーシャルワーカーの増員が必要だがどうか。

#### (5) 学校施設の老朽化問題について

子どもたちが安心安全な学習環境の中で生活できるよう、学校施設は適正に維持、管理されなければならない。

- ① 校舎及び体育館の耐震化は完了しているか。
- ② 老朽化した校舎、体育館及びプールなどの建て替え計画はあるか。
- ③ 和式トイレを洋式トイレに改修する必要があるがどうか。

## 8. 18番 平松吉祝 議員 (一問一答)

### 1. 六合公民館駐車場への保育園建設計画について

六合公民館の駐車場に保育園を建設するという計画は、さまざまな物議を醸している。地域住民に大きな混乱を与える前に白紙撤回すべきであるが、依然として強行に押し進められている。地域の実情を無視したこのやり方が、「公平公正な政治」を主張する市長の政治手法であるならば、地域住民も立ち上がって運動していかなくてはならないところである。

平成25年8月31日、六合地区から「六合公民館駐車場の継続使用について」の陳情書が市に提出されている。それに対し回答書が出ているが、「巧みな言葉による使用打ち切りの言い訳書」となっている。住民の生活実情を踏まえれば、今回の強硬な保育園建設計画も、市の財産だからと住民が物申せない進め方もあり得ない。地域住民の信頼を裏切るものである。よって以下伺う。

- (1) 地元住民への意向の確認は「各自治会長やコミュニティー会長に説明した。」と先の9月定例会で答弁しているが、説明しただけで意向の確認になるのか。
- (2) 「社会福祉法人六合福祉会が保育園建設を提案してきた。市内部で整備を進める方向で調整した。」と答弁しているが、提案書はいつ提出されたか。
- (3) 少子化の今、保育園増設は市内の保育園・幼稚園の経営を脅かすものになる。市内の保育園・幼稚園への説明、理解は得たか。
- (4) このまま強行すれば、大きな住民運動に発展するのは必至のことと予測できる。そこまでしても公民館跡地を六合住民から奪い去るのか。

### 2. 陸上長距離競技団体の合宿誘致について

陸上長距離競技団体の合宿誘致は「公共施設を資源と捉えあらゆる側面から市民に還元する。」を大義とし、多くの若人が集まる活力あるまちの構築を図るため、全国の競技団体に合宿誘致促進を図り、交流人口の拡大及び地域活性化に寄与することを目的として行われてきた。それは島田市の教育力の向上にも寄与するものである。田代の郷に建設が進んでいた全天候型陸上競技場は、「市民の皆さまに伺って、市民の皆さまが活用できるものを。」という市長の中止判断から頓挫して4年になろうとしている。中止により確実に島田市の活気は後退している。よって以下伺う。

- (1) 誘致力の低下がうかがわれるが、現在の誘致状況はどうか。また、今後どの方向へ向かおうとしているか。
- (2) スポーツ合宿を行う競技団体が特に要望しているのが全天候型陸上競技場とクロスカントリーコースである。トレーニング環境の整備が必要であるということは言うまでもない課題であるが、どのように捉え、尽力しているか。

9. 4番 山本孝夫 議員 ( 一問一答 )

1. 染谷市政の今までとこれからの市政運営について

染谷市長が就任し約3年半が経過した。就任前から述べていたこと、市長になってから述べてきたことなどを振り返り、取り組んできた施策の成果と今後の取り組み方針について、以下質問する。

(1) 自治基本条例について

- ① 市長は任期内に制定したいとの答弁をしていたが、現在当局からの説明では来年6月以降になると聞いている。任期内をやめ先延ばししたのはなぜか。
- ② この条例制定は何を改善したい狙いか。
- ③ この条例はどうしても制定しなくてはならないと考えるか。

(2) 財政運営について

- ① 染谷市政のもとで編成され、執行された平成26年度、平成27年度の財政運営をどのように解析しているか。
- ② 現在来年度予算を編成中と思うが、平成29年度予算は何に力点をおいて計画しているか。

(3) 防災対策について

- ① この3年半の期間に取り組んできた防災対策施策は満足できる内容となったか。
- ② これから新たに取り組む施策はあるか。

(4) 旧金谷中学校跡地利用について

- ① 市が用地を整備し、県が施設を建設するという約束で計画を進めると聞いていた。現在県は施設建設を民間に任せようとしている。約束を守らないことをどう考えるか。
- ② 県は施設建設に予算を使わず、民間に行わせようとしている。地権者でもなく資金も出さない県が今後の計画を主体となって進めるのはなぜか。

## 10. 7番 清水唯史 議員 ( 一問一答 )

### 1. 稼ぐ地域づくり体制の取り組みについて

平成27年度より島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、「日本で、世界で、稼ぐ産業の創出」、「島田市に住み、好きになる」、「希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもをまんなかに子育てする」、「水と緑に囲まれた健康長寿の暮らしやすいまちづくり」の4つの目標が上げられ、それに基づく施策が取り組まれている。地域経済の持続的な発展のため稼ぐについて、広域的に稼ぐ、島田市が稼ぐ、地域が稼ぐの3つの視点で、以下質問する。

- (1) 広域的に稼ぐの観点で、中部5市2町で連携し観光地域づくりと振興を図ることを目的として、平成29年4月に設立を目指している「県中部志太榛原地域連携DMO(仮称)」について
  - ① 組織形成について、どのような構想であるか。
  - ② 構成自治体とDMO組織の連携をどのように考えるか。
  - ③ DMOによる効果を各自治体がどのように把握、分析し、施策に取り組むのか。
- (2) 島田市が中心となり地域資源を活かして稼ぐ施策として、合宿誘致施策を検証することで今後の取り組みの参考にするため、地域経済への貢献、市民との交流を目的としたスポーツを中心とした合宿誘致活動について
  - ① 合宿誘致活動開始の経緯を伺う。
  - ② 事業促進(合宿誘致活動)をどのように行ってきたか伺う。
  - ③ 誘致実績と現状の検証をどのように行っているか伺う。
  - ④ 地域経済への効果、市民との交流の実績を伺う。
- (3) 地域が稼ぐために、人口減少の著しい地域ではコミュニティーなど地域の団体が中心となり地域資源を活かした観光などによる事業が考えられるが、地域の事業に対する市の取り組み、支援の考え方について
  - ① 過疎地域自立支援促進計画対象地域と辺地総合整備計画地域での計画内容の違いを伺う。
  - ② 全国各地では過疎地域及び辺地を含め他の地域との連携により活性化のための施策が行われているが、市の取り組みを伺う。

## 11. 17番 藤本善男 議員 (一問一答)

### 1. 行政経営戦略の推進について

島田市では社会情勢の変化や地方分権の推進に対応するため、これまでもさまざまな行政改革に取り組んでおり、現在は平成27年度からの3年を期間とする「島田市行政経営戦略」が行政改革を進める指針となっている。

「島田市行政経営戦略」初年度となる平成27年度の取組結果が示されたことを踏まえ、以下伺う。

#### (1) 平成27年度取組結果について

- ① 市の経営方針に基づき行政運営する仕組みの構築について、市長の経営方針と各部の経営戦略をマッチングさせたとのことだが、具体的な内容はどのようなものか。また、先進地視察を行ったようであるが、方針管理の手法等についてどのような調査結果が得られたか。
- ② 人材育成の推進について、計画に基づいた職員研修の実施や防災マイスター養成講座では認定者を40人輩出したとあるが、研修及び講座の運営に当たりスケジュール調整など苦労した点はあるか。
- ③ 組織力の強化について、横断的グループによる取り組みでは、市民団体への支援や自治会役員への女性参画など行政だけの努力では実現しない取り組みの一方で、マイナンバー制度導入対応など必須的な取り組みなども取り上げられるが、初年度の評価はどうか。
- ④ 効率的・効果的な行政運営の推進について、事務事業評価制度の創設を目指しているが、第三者の関与などについて他市での研究結果はどのようなものであったか。また、職員提案数が大幅に増加したが、どのように評価しているか。
- ⑤ 財政の健全化について、制度を構築したにもかかわらず実績が出ていない取り組みや、市全体の収支では財政の健全化に寄与できなかった事業などが見受けられるが、健全化への寄与度はどのように評価しているか。また、公共施設の維持修繕を行動計画の取り組みとしたことの評価はどうか。
- ⑥ 市民との協働体制の構築について、市長への手紙や移動市長室、パブリックコメントなどの取り組みが行われたが、取り組みはどのように評価しているか。

#### (2) 今後の取り組みについて

- ① 個人目標の設定など、職員の取り組みは今後どのようなようになるか。
- ② 今後、行動計画のPDCAサイクルはどのように進行管理されるか。

## 12. 5番 森 伸一 議員 (一問一答)

### 1. 島田大祭について

3年前の一般質問では、伝統ある島田大祭が多くの市民の協力、賛同を得る形になり、将来にわたって存続するように、という主旨で問題点の指摘や提案をした。今回の状況について、以下伺う。

- (1) 3年前の大祭について、島田大祭保存振興会などの関係者や市、それに一般市民など第三者を入れた検討委員会の設置を市が進める必要があると提案したが委員会は設置されなかった。その理由は何か。
- (2) 3日間のスケジュールなど大祭について観光客からはどのような意見があったか。
- (3) 大祭について、観光客誘致など観光面に関して市としてどのような総括をしているか。

### 2. 市民参加の会議について

市民の意見をできるだけ行政に取り入れようとする機会が増えており、いろいろな会議が設置されている。その中で市民の意見はどの程度反映されているか、以下伺う。

- (1) 市民が参加していると思われる会議の名称には、審議会、審査会、市民会議、協議会、委員会、部会、会議などの名称があるが、市民会議、協議会、委員会、部会、会議の名称の定義の違いは何か。
- (2) 大井川ミズベリング協議会について、10月18日の第3回の会議で要望書、計画申請書の案が検討されたようだが、その後どのようなようになったか。また、今後の予定はどうか。
- (3) 大井川ミズベリング協議会の委員の人選はどのような基準で決めたか。また、委員名簿の記載で委員と関係団体との違いは何か。

### 3. まちの魅力を生かして観光で稼ぐ施策について

市内では数多くの場所でテレビや映画などの撮影が行われ、フィルムサポート島田も協力している。映画やドラマを見た人が、そこに登場したロケ地を巡礼するロケツーリズムがブームとなっていることから、以下伺う。

- (1) ロケツーリズムで島田市に人を呼び込むために、どのような施策を考えているか。
- (2) まちの魅力を生かして観光で稼ぐため、この1年でどのようなことを行い、成果はどうか。

13. 11番 佐野義晴 議員 (一問一答)

1. 市役所本庁舎建て替えと新たなまちづくりとの関連について

我が国の人口は、2010年ごろをピークに、減少に転じ各自治体とも改善の手立てを講じるも特効薬はないのが実情である。

市もそのような社会情勢の中で、現在中短期を見据えたまちづくりの指針となる総合計画を始め各計画書の策定に取りかかっている。

議会は、このような時期だからこそ議決機関として事前の調査研究、そして提案等が必要と考える。

私はそのような思いから、これまでも新たなまちづくりとそれに伴う計画策定に向けて質問をしてきた。

今定例会も実施計画書に記載がある本庁舎建て替えと関連する各計画を絡め、新たなまちづくり計画に向けて、以下質問する。

- (1) 実施計画書に記載された市役所本庁舎建替事業(質問の主題)、田代の郷整備事業、ぴ〜ファイブ1階跡利用及び金谷庁舎跡地利用事業の計画動向を伺う。
- (2) 現在、同一敷地内及び隣接している庁舎建替事業に関連すると思われる市民会館及びプラザおおりの計画動向を伺う。
- (3) 上記に示す各事業をどのような形、どのような方法でこれからのまちづくりに生かしていくか、具体策を伺う。

#### 14. 1番 青山真虎 議員 (一問一答)

##### 1. 農業・山林の未来ビジョンの必要性について

今年も茶価低迷により離農者がさらに増加する。これに比例して荒廃茶園の対策はより大変になり、一方で、市内の田んぼは相次いで宅地化されている。食・農についての要望と方針の狭間で市としての方向性が問われている。

現場の高齢化に加えて後継者不足の問題は、林業ではさらに深刻である。産業としての衰退は今に始まったことではないが、先代が杉やヒノキに広く植え替えたその責任が、我々世代に岐路として今まさに目の前に突きつけられている。多発傾向の土砂災害は山からのメッセージであり、獣害は私たちがしてきた結果である。根本的な原因は明確であり、今やらなければ次世代の負担が増すのに、手を打たないのはなぜか。島田市を守るとは、山や田畑や子供たちが生きるための環境を守ることが最低限ではないか。元農林業従事者の老後も含めて日々疑問や心配に思うことを、以下伺う。

- (1) 食や農業について市としての明確な方向性はあるか。
- (2) 山についての将来ビジョンを持っているか。
- (3) 里山の環境、茶葉育成にも影響する大井川の恵みだが、源流部へのリニア中央新幹線工事による川の流量変化はみられたか。

##### 2. 初倉地区の市道・農道の整備方針について

初倉地区は昔から農家が多く、今も結の精神が息づいている。土づくりに人生を捧げたある高齢者は「自身の我より人様や地域の和を尊重してきた。」と語った。初倉地区の道路状況は生活道路の陥没、ひび割れ、平地でも未舗装路などが見られ、近隣でもまれな状況であるが、これについて厳しい意見が上がってこないのは地域性によるものか、または自治体合併後の不平等現象が昭和から続いていたからか。いずれにしろ今後の初倉の道路、農道の整備方針について伺う。

- (1) 初倉地区の道路整備について今後どのように考えているか。



## 15. 2番 杉野直樹 議員 (一問一答)

### 1. 市民の市政参画について

市民には、市政に関心を持ち、自身の考えをしっかりと伝えてくれる方もいるが、中には日々の生活に追われ、なかなか自身の考えを市政に伝える機会が持てない方も多くいると思われる。また、今後高齢化社会に突入し、人口の多い世代の声が届きやすくなり、一部の世代のための市政に偏ってしまうことが懸念されることから、さまざまな世代の考えをこれからの市政にバランスよく反映させる必要があると考え、以下伺う。

- (1) 現在、島田市の世代別人口はどのような状況か。
- (2) 選挙権年齢が引き下げられたことにより、市における有権者の平均年齢は何歳まで引き下げられたか。
- (3) 市の社会保障費は高齢者向け、若年層向けを対比した場合、その割合はどの程度か。
- (4) 今後、人口が多い世代の考えが市政に反映されやすい状況に陥った場合、是正する方法はあるか。

### 2. 島田市の産業について

市の産業発展は、税収増はもちろんだが雇用の創出にもつながり、持続可能なまちにしていくには必要不可欠であると考え。これまでも多くの議員がさまざまな角度から産業の発展について質問しているが、発展への道は険しく多くの課題を抱えているのが実情であることから、以下伺う。

- (1) 市の産業発展を評価する方法は何か。
- (2) これまでの歴史の中で、市の産業はどのように形成されてきたと分析しているか。
- (3) 産業支援センター「おびサポ」の実績はどのような方法で評価するか。
- (4) 市の産業発展を推進していく中での課題は何か。

16. 15番 福田正男 議員 (一問一答)

1. 染谷市長の市政運営について

染谷市長は、公平・公正な市政の実現を目指すというキャッチフレーズのもと当選してから、はや3年半が過ぎようとしている。染谷市長に対する市民の評価は賛否両論あると思うが、これまでの実績と今後の市政のあり方について、以下質問する。

- (1) これまでの実績について、市長自身の評価はどうか。
- (2) 先日市民会館が解体された。今後の跡地利用の方針を伺う。
- (3) 南海トラフ地震が予想されている中、市役所の老朽化が目立ち、早急な対策が望まれる。今後の方針を伺う。
- (4) 旧金谷中学校跡地の活用に向けた基本計画が発表された。今後の具体的な取り組み方針を伺う。
- (5) 蓬莱橋周辺の今後の整備方針を伺う。
- (6) 川越街道周辺の「ヒストピア島田」について、今後の整備方針を伺う。
- (7) 大井川マラソンコーススリバティの今後の整備方針を伺う。
- (8) 染谷市長が考える島田市の将来ビジョンは何か伺う。

17. 6番 伊藤 孝 議員 (一問一答)

1. ふるさと寄附金(ふるさと納税)について

現状、ふるさと寄附金制度は、「当初の趣旨とは違う。」、「カタログショッピング。」との声を聞くが、焼津市のように収入増になり市民サービスの向上につながっている市町もある。地場産業振興にも大いに役立っているとも聞く状況であり、ふるさと寄附金に対する収入が大きくマイナスになるようではいけないと思う。

島田市全体にとってプラスになるように積極的に取り組む必要があると思ひ、以下伺う。

(1) 現状について

- ① 金額及び件数はどのような状況か。
- ② 所管課及び他部課の体制はどのような状況か。

(2) 今後について

- ① 平成28年度末の予測はどうか。
- ② 平成29年度に向けてはどうか。

2. シティプロモーションについて

島田市ブランドメッセージ・ロゴ「島田市緑茶化計画」が市民に認識され始めているが、内容と今後の展開が理解されていないように思う。このままでは計画倒れになりかねないと思ひ、以下伺う。

(1) 島田市緑茶化計画の現状はどうか。

(2) 今後のシティプロモーションの計画はどのように考えているか。